

# 福祉の心を 市政に

今村 直登 議員

## 一 所信表明について

**今村** 財政改革について、「民間でできることは民間で行う」という大前提の下にあるが、事業は行政が行う時には福祉である、民間に委託すれば金儲けの対象となる、行政の支出は減っても、市民には別の形で負担増になる。

**市長** 負担増にならない方法で進めて行く。

## 二 TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)について

**今村** TPPが結ばれると日本の農業は壊滅的打撃を受ける。これに反対の意見はあるか。

**産業振興部長** 国民的な合意がないかぎり参加は慎重であるべきと考えられています。

## 三 高齢者福祉について

**今村** 東京の日の出町では75歳以上の高齢者の医療費を無料にしている。健康福祉部長 財源的な問題があり実施は考えていない。

## 四 乳幼児医療費について

**今村** 中学3年生までの無料化を。



**健康福祉部長** 財源の問題があり実施は考えていない。

## 一 行政施設に磁気ループの設置を

**今村** 高齢になると、話が聞き取りにくくなり、出かけるのをためらいがちになる。

**健康福祉部長** 今後の検討材料にしたい。

**今村** 兵庫県相生市では、4月から保育料無料、保育園から中学3年生まで給食費無料、結婚して3年間、月1万円の住宅費補助、相生市に住宅を建てれば、30万円の補助に加え、18歳未満の子ども一人に5万円加算、その他にも通学のバス代全額補助等を「相生市活力向上計画」と銘打って、子育て支援を強化することで、市の活性化を図っている。合志市もこういうところを見習ってほしい。事業を計画する時には、市民にアンケートを実施してほしい。



# 市政運営について

木村 祐一 議員

## 木村 本市の将来像である「未来輝く産業、定住拠点都市」の創造、併せて定住促進にもつながる「子育て支援日本一づくり」を目指し、5年間の第2期基本計画が策定され、さらに市長マニフェスト「健康都市こころ」への取り組みも併せ、政策が展開されていく事と理解している。

**木村** 本市の将来像である「未来輝く産業、定住拠点都市」の創造、併せて定住促進にもつながる「子育て支援日本一づくり」を目指し、5年間の第2期基本計画が策定され、さらに市長マニフェスト「健康都市こころ」への取り組みも併せ、政策が展開されていく事と理解している。市政運営において、自主財源の確保は重要である。現状と今後について尋ねたい。

**市長** 平成23年度予算で自主財源37.5%、依存財源62.5%である。福祉、医療、教育に少しでも財源を廻すためにも、自主財源の確保は至らざるを得ない。

**木村** 財源なしでは、市民のニーズにこたえることはできない。扶助費は増大し財政運営が一段と厳しくなる。今



合志市役所合志庁舎



後の市民サービスについて尋ねたい。  
**総務企画部長** あれがこれかの選択になり事業評価により進める。「入りをはかり、出するを制す」のとおり、まずは歳出の無駄を省き、財政計画に沿って運営したい。

## 一 国保運営について

**木村** 平成23年度国保会計では、国県支出金16億3千241万円であり歳入合計の約32.8%である。今後、国庫の増がなければ繰入金金の増、もしくは保険料値上げも避けられない。今後の運営について尋ねたい。

**健康福祉部長** 来年度の運営も厳しいと思う。赤字となった場合は、基金の一時借り上げ、一般会計からの法定外繰り入れ、保険税率アップなどの選択肢がある。国保の構造上問題として無職者、低所得者の加入が多く、長引く景気低迷等により税のアップは厳しい。  
**市長** 法定外繰り入れも考慮しながら検討せざるを得ない。ただ、永く続けていくことが体力的にできるか検討中である。

# マニフェストの 見直しは？

坂本 早苗 議員

## 一 学校図書館の充実を！

**坂本** 学校司書を常勤職から非常勤職にすることを広報で知ったが、3時15分までの勤務時間で放課後の支障はないのか。

**教育部長** 市役所の職員数を減らすために市から学校に派遣していた事務補助兼司書を25年度までに全員引き上げることになった。5時間45分の勤務時間の使い方については各学校に任せる。

**坂本** 23年度は4人の募集となっているが、いまだにどの学校が知らせていない。非常勤職では学校給食の徴収業務ができないので、誰がその仕事をするのか決められない。準備の時間も情報がない。ではないのか。

**教育部長** 23年度は合志中、合志南小、南ヶ丘小、西合志南小に非常勤を予定している。学校給食の徴収業務は学校ではなく学校教育課で対応したい。また給食費の引き落とし等も検討したい。

## 二 広報の充実を！

**坂本** 広報こうしは月に一度発行されているが、合併後は行事も多く、チラシでのお知らせが増えている。チラシをやめて、おしらせ版の簡単な広報紙を出してはどうか。

**総務企画部長** 検討したい。  
**坂本** 市長は所信表明の中で「マニフェストは随時見直しを行っていく必要がある。」と述べているが、具体的にどの事業について見直しを考えているのか。

**市長** 警備会社に支払っていた子ども通学サポート委託料を廃止して、地域の見守りグループに還元することにしてはいたが、地域によっては子どもをサポートする組織がないことがわかり、引き続き警備会社を利用することにしたい。また学校で家庭用炊飯器を使う給食については国の補助が廃止されたので見直しが必要がある。



# 所信表明について

松井 美津子 議員

## 松井 市長の所信表明について本市の魅力は何か。「行政改革の推進」と「稼げる市」について伺う。

**市長** 恵まれた都市的環境、緑豊かな農業景観、数え切れないほどの魅力に満ちている。アニメのまちづくりはいろいろな団体、企業と交流を図り、産業の活性化につなげる。健康ファクトリー構想については具現化する事業をスタートしたので、地域経済に貢献すると確信している。発生主義と複式簿記導入については、本市は総務省改訂モデルを導入しており、今後も市民に分かりやすい公表に努めたい。

**松井** 本年、7月24日の完全デジタル化に向けて地デジ難民対策について。  
**総務企画部長** 地デジ説明会を開催し相談会を行った。国の支援策を市民に周知し、広報や相談に努めたい。  
**松井** 住民生活にとって大事な分野でありながら、光が十分に当てられてこなかった分野であるDV対策に対する交付金の活用について。

**松井** アレルギー対策について。  
**教育部長** 教職員研修の充実と緊急時の対応マニュアルの徹底をしていきたい。



**総務企画部長** 住民生活に光を注ぐ交付金を財源として、西合志庁舎3階をDV対策や、子育て、福祉等の相談所として充実を図る。

**松井** 子宮頸がん、乳がんの無料検診はH23年度も継続して実施の方向で予算要求している。  
**松井** 学びのイノベーション事業について伺います。

**教育部長** 教育の環境整備という課題と近隣市町の活用状況等、情報収集しながら対応を進める。